

学習展開例（第5学年 音楽）

※狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動は、感染症対策を講じてもお感染の可能性が高いため、当分の間行わない。

○年間を通じて、休憩時間等で教科書の音楽を流して親しませ、家庭で歌を歌ったり楽器の練習をしたりできるようにする。

担当
(小島)

教科書の 順番	学期	題材名	内容	学習目標	標準時数	学習展開例		想定時数	
						学校（みんな）ですること	家（一人）ですること		
巻頭		心をつなぐ歌声	歌唱	表現するときに大切なことを知り、年間を通して愛唱し、歌う楽しさを味わいましょう。	6	・5年生で学習する曲を聴いたり、口づさんだり、教科書P.4,5の学習する内容や全体をめぐって見たりして、特にやってみたい曲や内容等について話し合う。	・教科書をめくりながら、やってみたいことや興味のあることを考える。 ・興味のある曲を歌ったり、リコーダーや鍵盤ハーモニカで練習したりする。		
1	1	歌声をひびかせて心をつなげよう	歌唱	曲の感じや特徴を生かして、明るい声で歌いましょう。					
	2	1	音の重なりを感じ取ろう	歌唱 器楽 鑑賞	リコーダーの音や歌声が重なり合うひびきを感じ取りながら、合唱したり演奏したりしましょう。 いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを味わいながらききましょう。	9	・「小さな約束」「静かに眠れ」を、短調や和音の響きを感じながら演奏したり聴いたりする。 ・短調と長調の音階の感じの違いやよく使われる和音の響きを感じとる。 ・いろいろな音の重なり方を意識しながら、アインクライネナハトムジークを聴く。 ・弦楽器の種類を知り、音を聴く。	・「小さな約束」「静かに眠れ」から選んで練習する。	
	4	1	和音の移り変わりを感じ取ろう	鑑賞 器楽 鑑賞	和音の移りわりを感じ取りながら、合唱したり演奏したりしましょう。				
	3	1	いろいろな音色を感じ取ろう	器楽 音楽づくり 鑑賞	いろいろな楽器の音が重なり合うひびきを楽しみながら演奏したり、聴いたりしましょう。 打楽器の音色や音楽の仕組みを生かして、リズムアンサンブルをつくりましょう。	8	・祝典序曲を、オーケストラで使われる楽器に関心をもって聴く。 ・打楽器の音の特徴に気をつけながら楽器を選び、P32,33を参考に、どんなイメージにするか考えたり、考えたイメージに合っているか聴きながらリズムアンサンブルをつくる。	・自分の好きな曲を、曲の感じと演奏の工夫の関係を考えながら聴く。	
	5	1	曲想の変化を感じ取ろう	歌唱 器楽	曲想の変化を感じ取って、明るい声で歌いましょう。 曲想を生かして合奏しましょう。	11	・「キリマンジャロ」「威風堂々」などから、演奏したい曲を決め、どんな音楽にするために、どのように演奏するか話し合う。 ・練習計画を立て、家庭で練習した部分を合わせる。 ・自分たちの考えた演奏に近づけよう、全体の響きを感じながら合奏する。	・決めた曲から、どんな音楽にしたいか、どんな演奏の工夫ができそうか考える。 ・自分のパートのリズムの確認、階名唱など家でもできる練習をする。	
	8	2	思いを表現に生かさう	歌唱 器楽 鑑賞	きいている人に、音楽のもり上がりが伝わるように演奏しましょう。 歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。				
	6	2	詩と音楽の関わりを味わおう	歌唱 鑑賞	詩と音楽との結び付きに気を付けて、日本語の歌曲を味わいましょう。 歌詞の表す情景を思い浮かべたり、曲想を生かしたりしながら歌いましょう。	12	・日本の音楽を聴いて、その特徴を話し合ったり確かめたりする。 ・作曲家や楽器等調べたことを発表し合い、曲を味わう。 ・日本の音階の特徴を知り、その音階を使った、旋律づくりについて知る。 ・リコーダーや鍵盤ハーモニカなどで作った旋律の感じを確かめたり、友達と繋げたりする。 ・繰り返しの旋律を考え、重ねて演奏する。	・日本の音楽を1曲選び、その特徴や作曲家や楽器等について調べる。 ・日本の音階やリズムから、旋律を考える。 ・つくった旋律を演奏する練習をする。	
	7	2	日本の音楽に親しもう	歌唱 音楽づくり 鑑賞	日本の音楽の特徴を感じ取り、楽器のひびきと旋律の美しさを味わいながら歌ったり聴いたりしましょう。 日本の音階を使って旋律をつくりましょう。				
			歌いごう 日本の歌			4	・学習の中で必要に応じて選んで歌ったり聴いたり演奏したりする。	・自分の好きな曲を歌ったり、演奏したりする。	
			みんなで楽しく						
					50				

・「想定時数」は、学校ですること（授業）の時数とする。